



株式会社ユニカフェ
2021年度 サステナビリティレポート

2022年 3月

ユニカフェが考えるサステナビリティ

はじめに

私共は自社の利益を追求するだけでなく、企業理念に掲げる「人と環境に優しい企業」を目指しています。そのため、私共の活動が社会へ与える影響に責任を持ち、『誰も取り残されない』世界の実現に貢献し続けたいと考えております。

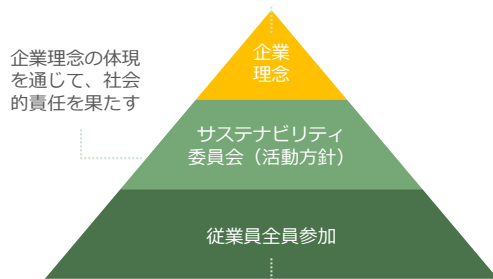
その為には、SDGsへの取り組みは欠かせません。

私共は、SDGsの取り組みをより加速度的に推進すべく、各部からメンバーを選任し、サステナビリティ委員会を発足致しました。

“Think Globally As a Roastery”のスローガンのもと、企業理念の体現を通じて「持続可能な社会の実現」に向けて全従業員一丸となって取組んでまいります。

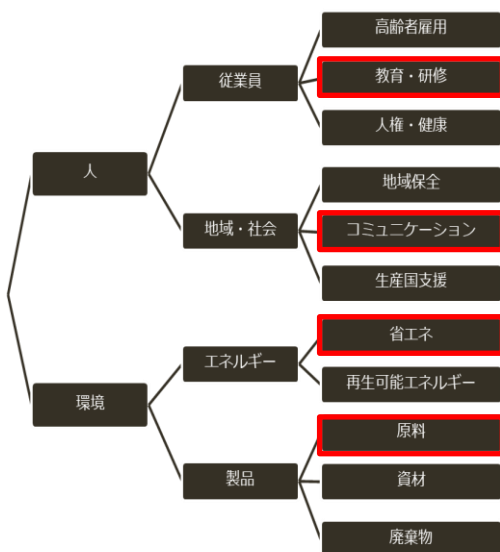


「コーヒーをコアに人と環境に優しい企業を目指す」



各部門から選任された委員を通じて従業員全員が参加する

2021年度の活動について



委員会では企業理念の下、「人」と「環境」に着目して活動を展開しており（活動項目は左図参照）、優先順位をつけた担当制を用いることで戦略的に活動しております。

昨今では、認証コーヒーや一杯抽出型事業の需要が増加しており、神奈川総合工場では国内屈指の生産体制を生かしたコーヒー製造を行っている一方で、焙煎は大量の熱エネルギーが必要でCO₂排出量も多く、コーヒーの2050年問題が脅威となっています。また、従業員が一丸となってサステナブルな活動を行うためには、SDGsへの理解は欠かせません。2021年度は、下記4つを重点項目に活動をしぼり、企業理念の体現を目指してきました。

①教育・研修 ②コミュニケーション ③省エネ ④原料
各重点項目について次ページよりご報告申し上げます。

教育・研修

ユニカフェが目指す姿

「人材育成」は経営にとって最重要テーマの一つであり、従業員の活躍・成長を促す為、等級・職位別研修体系図を定めております。また、サステナブルな活動は全従業員が一丸となって取り組まないと達成することができませんので、世界的な課題であるSDGsに関する教育もサステナビリティ委員会を中心に積極的に行っています。

私共は従来から環境に配慮した取り組みは行ってきましたが、サステナブルな活動という枠組みではしていませんでした。そこで、従業員全員へサステナブルな活動を知ってもらうために教育と研修を充実させるという目的でCSRとSDGsについての教育・研修を進めています。

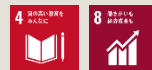
全従業員に対しての啓蒙活動を行い、サステナブルな活動を行う文化の醸成を目指して行きます。

ユニカフェの取り組み

次世代人材育成のために選抜型教育研修、自社資格「ユニカフェコーヒーマイスター」取得支援を全社で実施しているほか、神奈川総合工場では安全パトロール、危機体感教育等の安全教育を実施しています。SDGsに関する教育もサステナビリティ委員会を中心に積極的に行っています。

2021年度の取り組み 教育・研修

サステナビリティ通信の配信



委員会ではサステナブルな活動について全社員への理解を深めるため、社内報として「サステナビリティ通信」を新たに作成して社内にもむけた配信を致しました。

サステナビリティ通信ではCSR、SDGsについての理解や他社の取り組み事例を取り上げます。また、自社の現状を把握した上でサステナブルな活動に取り組んでもらうため、ユニカフェのエネルギーの削減や廃棄物量の推移が分かるデータを従業員へ開示しています。



2022年度での目標

サステナビリティについて発信する場ができたため、次は発信した内容がどれだけ従業員に届いているかを定量化して参ります。

他に、委員会メンバーのSDGsに関する理解を現場レベルで高めるため、廃棄物引取業者と連携し、廃棄物処理の様子を体験していきます。

コミュニケーション

ユニカフェが目指す姿

私共は、株主を中心とする当社のステークホルダーをコミュニティとし、コミュニティに存在する共通の善を全うすることを正義として行動してまいります。

その為に、株主・投資家の皆様に対し、透明かつ健全な経営を全うすることや、事業活動を通じた全てのステークホルダーの皆様との交流を大切にしております。

ユニカフェの取り組み

インターネット上で工場見学が疑似体験できる「バーチャル工場見学」を開設致しました。また、株主様へ定期的な報告として株主総会の実施、日ごろの感謝を込めて優待品をお贈りしております。

2021年度の取り組み コミュニケーション

バーチャル工場見学サイトの開設



生豆の受入から焙煎、粉碎、包装までのコーヒー製造工程を1つ1つ見ながら学べる「バーチャル工場見学」の動画撮影及びサイトの制作を行いました。

私共は、コーヒー焙煎のプロフェッショナル集団として本物の味を追求し、多種多様な焙煎機、包装機を駆使して、お客様のニーズに合わせたコーヒーを製造しております。更に、工程内ではサステナブルな取り組みも行っており、バーチャル工場見学サイトを通じて、私共のコーヒー製造へのこだわりをお伝えできるようなサイトを開設いたしました。

私共がどのようにコーヒーを製造しているか、知っていただける1つの機会になれば幸いです。



工場見学 | 株式会社ユニカフェ (unicafe.com)

2022年度での目標

バーチャル工場見学サイトをご視聴いただいた方からのお問い合わせ等、バーチャル工場見学サイトを通じて、皆様とコミュニケーションを図っていきたくと考えております。

また、よりユニカフェ神奈川総合工場のコーヒー製造、サステナブルな取り組みを実感いただきたく、新型コロナウイルス感染状況を考慮しながら、実際に私共の工場にご案内できるような取り組みも検討してまいります。

省エネルギー

ユニカフェが目指す姿

コーヒー産業と文化を維持していくためには、地球温暖化への具体的な対策が不可欠です。コーヒーの木は温暖な気候を好む植物ではあるものの、地球温暖化の進行によって栽培適地が減少し、収穫量や品質が損なわれることが予測されています。私共は、コーヒー産業の継続的な発展に貢献し、これからもお客様に美味しいコーヒーを味わっていただくために、CO₂排出量の削減を重要な課題と捉えています。

私共は、2025年度の自社のCO₂排出量を2019年度より46%削減することを目標として、省エネルギー活動に取り組んでいます。

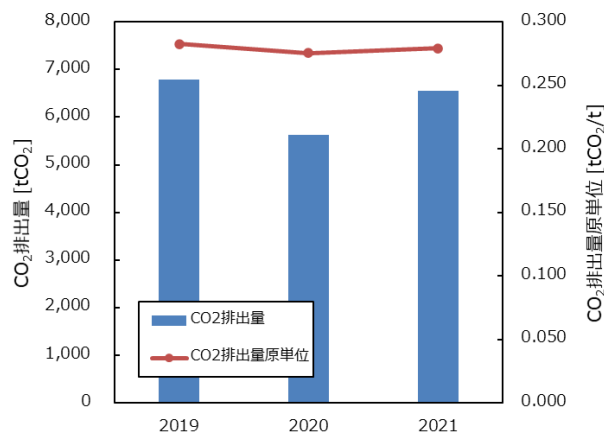
2021年度の取り組み 省エネルギー

工場内照明のLED化



神奈川総合工場内の天井照明をLED照明に切り替える工事を行いました。LED照明は、白熱電球や蛍光灯に比べて消費電力が小さいため、工場を稼働することで発生するCO₂排出量を削減できます。

2021年度の自社のCO₂排出量は6,542 tCO₂となり、2019年度より3.4%減少しました。また、同年度の生産量1 tあたりのCO₂排出量を示すCO₂排出量原単位は2.79 tCO₂/tとなり、2019年度より1.1%減少しました（右図参照）。

CO₂排出量の推移

2022年度での目標

サプライチェーン全体のCO₂排出量の削減に向けて、GHGプロトコルにおけるScope3排出量の算出と目標設定を行います。また、全従業員が省エネルギー活動に取り組む体制を構築するために、エネルギーに関するデータの見える化・共有化を行います。

原料

ユニカフェが目指す姿

私共は「コーヒーをコアに人と環境に優しい企業を目指す」を製品を通じて体現するため、「責任ある原料調達」の導入・拡大を目指しており、SDGsに寄与した認証原料製品の開発を進めています。

認証原料の取り扱いが拡大する事で、生産国における環境保全や生産者の所得向上が期待できると考えております。

ユニカフェの取り組み

私共はサプライチェーンの製造等という立場から、サステナブルなコーヒー事業を実現すべく、コーヒー原料の各認証を取得し、認証コーヒー製品を製造する体制を整えています。私共は認証コーヒーの使用を推奨しております。

2021年度の取り組み 原料

認証原料を使用した商品開発



ユニカフェの業務用製品として、認証原料を使用した商品開発を行っております。昨年度末までに、「使用する認証原料」「ブレンド内容」「焙煎レシピ」「内容量」「パッケージデザイン」等、レギュラーコーヒー製品にとって特に重要な商品規格を決定しました。原料はレインフォレスト・アライアンス認証、有機JAS認証の生豆を使用致します。

また、当該製品は認証原料を使用するだけでなく、梱包資材にも環境に配慮した素材でできたフィルムと段ボールを使用することで、ユニカフェが目指すサステナブルな調達活動を実現します。

2022年度での目標

引き続き商品開発を進めていくと同時に、販売に向けた営業活動を定量目標を定めて行います。

ユニカフェは、お客様ブランドによるPB製品の製造とOEMが主力事業のため、ユニカフェブランドの知名度は高くはありません。しかしながら、ユニカフェブランドの業務用製品として多くのお客様に導入していただき、認証原料製品の市場規模を拡大していけるよう、全社一丸となり取り組んでまいります。



